



2019 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 オ プ ト ラ ン
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 林 為 平
(コード番号：6235 東証第一部)
問 合 わ せ 先 取締役専務執行役員管理部長 高 橋 俊 典
(TEL. 03-6635-9487)

新型装置開発完了及び受注の本格化について

弊社は、新型の LED 向けスパッタ装置および蒸着装置の開発を完了し市場リリースを行い、また新型車載向けスパッタ装置の受注が本格化したので、お知らせいたします。

新型の LED 向け装置の一機種は、LED 用 DBR (Distributed Bragg Reflector) 膜の性能を飛躍的にアップさせる成膜プロセスを開発完了し、量産可能な新型スパッタ装置および蒸着装置に組み込み、実用化しました。LED の大量生産・自動生産ラインに本装置を組み込むことにより、LED 照明生産において過去数年間をかけて性能アップしてきた LED 照明生産技術改善のインパクトと同等以上の生産メリットが実現いたします。その結果、生産コストも飛躍的に低下し、LED 照明メーカーにとっては、最終製品の大幅な輝度アップ及び生産コスト削減が同時に可能となります。

もう一機種は、LED 用 TCO (Transparent Conductive Oxide、透明導電膜) 膜の性能を飛躍的にアップさせる成膜プロセスを開発完了し、RPD 蒸着装置に組み込み、実用化しました。本装置により、低温成膜が可能となり、発光チップに対してダメージが少なく LED の寿命を飛躍的に向上させます。また、従来よりも膜厚を極薄化させ、生産コストも低下させます。

以上の二機種は、今後、新たにマーケティングを開始いたしますが、すでに受注可能性を確認しており、早期に生産開始出来る見込みです。

また、新型車載向けスパッタ装置の受注が本格化し始めております。当社が誇るスマートフォン向け AR/AS 膜 (反射防止膜/防汚膜) 成膜装置技術を車載関連に応用し、高品質の AR/AS 膜の多層膜成膜技術を、車載向けの大面積成膜可能なスパッタ装置に搭載したものです。すでに国内外数社に納入済みですが、今後、車載関連需要の盛り上がりが見込めますので、マーケティングを積極化してまいります。

なお、今回の発表機種は、2019 年度に見込まれる弊社の新型装置リリースの第 1 弾であり、市場マーケティングに注力し、今後も引き続き、新型高性能成膜装置開発および市場への投入を継続してまいります。

(参考) DBR 膜は、光源と基盤の間に成膜し、側方や後方に逃げる光を反射させ、LED の発光量を増加させる効果を持たせる機能があります。

TCO 膜は、電流を伝導させ、光を透過させる機能があります。

AS 膜は防汚機能、AR 膜は反射防止機能があります。

以上